

別府温泉郷における観光客の動向

浦 達 雄

1. はじめに

(1) 研究の目的

別府市観光課の統計によると、1997年の別府温泉郷の観光客数は1,134万158人(日帰り客729万9,853人、宿泊客404万305人)を数える。この数値はピーク時の1976年の1,312万1,962人(699万439人、613万1,523人)に対して、86.4%(95.8%、65.9%)の伸びに留まっているに過ぎない。日帰り客の伸び悩みと共に、宿泊客の減少傾向が明らかである。

高度経済成長期の別府温泉郷は、九州観光の宿泊拠点として機能し、別府を基点に阿蘇・熊本・雲仙・長崎方面、宮崎・鹿児島方面の広域観光ルートが形成された。その際、別府の入り込み先として地獄めぐりと高崎山という定番観光が確立した。観光客の大半は職場旅行や修学旅行など団体旅行が主流を占め、別府は単なる宿泊拠点としての様相を呈したのである。

しかし1973年の石油危機以降の観光行動は、大きく変貌することになった。海外旅行ブーム、交通体系の変革、家族旅行の増加などによって、団体旅行先としての別府のこうした拠点性はしだいに薄れ、特色のない温泉観光地としての状況を呈するに至っている。

本研究の目的は1998年現在の別府温泉郷における観光客の動向を明確にすることである。その際、重点的な課題は観光客の具体的な行動パターンを把握することである。観光客の動向は一般的には時代と共にその行動パターンに変化がみられる。

別府温泉郷の場合は高度経済成長期のケースが典型的なパターンとして、一般的に認識されている。しかし安定経済成長期以降、別府温泉郷における観光客の行動パターンは着実に変化しており、筆者独自のアンケート調

査を実施することで、その実態を把握すべく努力をした。

(2) 研究の方法

今回の研究では、1998年現在における観光客の行動パターンを明確にするために、アンケート調査を実施した(資料1)。調査の時期は1998年1月17日・18日、4月25日・26日、7月11日・12日、10月3日・4日の各シーズンの2日間で、いずれも土曜日・日曜日である。調査時間帯は10時から16時までとした。調査場所は海地獄、岡本屋売店、竹瓦温泉の3ヵ所である。海地獄は鉄輪温泉に立地し、別府観光の代表的シンボルで、地獄めぐりの拠点である。岡本屋売店は明礬温泉に立地する別府の新しい観光スポットで、地獄蒸しプリンを名物とした軽食堂兼売店である。竹瓦温泉は別府温泉(北浜)に立地する市営温泉で、近年のレトロブームで入湯客数が増えている。有効サンプル数は海地獄1,122組、岡本屋売店507組、竹瓦温泉285組となった。

アンケートの対象とした観光客は調査用紙が読めることを前提としたため、外国人の回答はなく、滞在時間の限られた定期観光バスを利用した観光客に対して、サンプル数は少ない。

2. 観光客の属性

(1) 年齢構成(表1)

各施設を訪れた年齢構成の平均は海地獄36.4歳、岡本屋34.9歳、竹瓦温泉38.7歳で、平均年齢は30歳代半ばとなる。海地獄では20歳代38.0%が多く、以下、30歳代20.4%、40歳代15.0%、50歳代15.0%と続く。岡本屋では20歳代が45.8%と特化しており、

表1 観光客の性・年齢 SA

観光客の性・年齢	海地獄	岡本屋	竹 瓦
男性	40.6%	39.1%	51.6%
女性	58.9	60.9	46.3
10歳以下	0.1	—	—
10～19歳	2.9	1.8	3.2
20～29歳	38.0	45.8	29.7
30～39歳	20.4	18.7	21.1
40～49歳	15.0	14.0	14.4
50～59歳	15.0	13.8	18.9
60～69歳	6.3	3.7	7.4
70歳以上	0.7	0.8	2.1
平均	36.4歳	34.9歳	38.7歳
最大	79歳	76歳	79歳
最小	9歳	12歳	17歳
サンプル数	1122組	507組	285組

表2 観光客の職業 SA

職 業	海地獄	岡本屋	竹 瓦
農林水産業	1.8%	0.2%	1.1%
自営業	6.4	5.9	7.7
専門・技術職	19.9	18.5	13.7
販売・事務・労務職	23.9	23.3	24.7
会社経営・会社役員	5.4	5.9	6.3
教員	1.4	1.8	0.7
公務員	8.6	11.6	13.3
学生	5.8	43.0	4.6
パート・アルバイト	5.8	5.1	6.0
専業主婦	12.9	9.3	9.5
無職	4.0	2.6	4.6
その他	2.2	3.2	3.9
サンプル数	1122組	507組	285組

表3 観光客の同行者 SA

同 行 者	海地獄	岡本屋	竹 瓦
自分だけ	2.2%	1.0%	14.4%
夫婦・同伴	30.7	34.6	21.1
家族連れ	15.8	16.0	11.2
家族・親族	12.8	7.7	6.7
友人・知人	24.0	23.5	33.4
職場の人	10.0	8.7	7.7
同業の人	1.1	2.0	2.1
地域の人	1.4	1.2	0.4
趣味・同好の人	0.9	0.4	0.4
学校団体	0.2	0.2	—
旅行会社の団体	0.4	—	0.4
サンプル数	1122組	507組	285組

表4 同行者数 SA

同行者数	海地獄	岡本屋	竹 瓦
1人	2.2%	1.0%	14.4%
2人	41.2	43.6	38.4
3人	10.8	16.0	16.5
4人	12.7	14.8	13.7
5人	9.2	8.7	7.0
6人	4.4	2.0	6.0
7人	2.2	6.1	1.8
8人	2.9	0.4	—
9人	1.4	1.6	0.4
10人以上	12.6	2.2	0.7
平均	5.3人	3.5人	3.0人
最大	60人	23人	16人
最小	1人	1人	1人
サンプル数	1122組	507組	285組

表5 別府までの主な交通機関 SA

別府までの交通	海地獄	岡本屋	竹 瓦
飛行機	23.5%	6.9%	13.0%
JR	7.5	6.7	28.4
船	4.8	3.6	9.5
自家用車	53.6	73.7	41.6
公共バス	1.2	0.4	1.8
団体貸切	2.6	0.8	—
定期観光バス	1.7	—	0.4
レンタカー	3.7	2.6	2.8
その他	0.3	0.2	0.7
サンプル数	1122組	507組	285組

表6 別府温泉郷内の移動手段 SA

別府温泉郷内の移動	海地獄	岡本屋	竹 瓦
徒歩	0.3%	1.6%	16.5%
自家用車	57.8	78.7	43.4
公共バス	6.0	2.0	8.8
団体貸切バス	15.7	1.0	—
定期観光バス	1.4	—	2.5
タクシー	5.3	4.3	18.6
レンタカー	11.8	5.7	6.3
その他	0.2	0.4	1.4
サンプル数	1122組	507組	285組

表7 市場構成 SA

市場構成	海地獄	岡本屋	竹 瓦
北海道	0.4%	0.2%	0.7%
東北	0.1	—	0.4
関東	17.1	6.5	11.0
中部	6.2	1.4	2.5
近畿	14.7	3.4	16.7
中国	12.8	5.1	10.6
四国	2.3	3.6	3.9
九州	46.1	74.8	51.3
(福岡)	(26.9)	(44.1)	(24.6)
(大分)	(6.1)	(15.4)	(16.1)
(その他)	(13.1)	(15.3)	(10.6)
サンプル数	1122組	507組	285組

表8 旅行の目的 MA

旅行の目的	海地獄	岡本屋	竹 瓦
観光	86.5%	58.8%	48.1%
湯治	3.2	11.2	17.9
保養・休養	10.9	31.2	29.8
宴会	2.3	1.6	2.8
親睦・コミュニケーション	4.2	12.4	11.6
食事・会食	1.1	7.5	3.5
法事・慶事	0.5	1.2	4.9
スポーツ・アウトドア	2.0	4.7	3.5
見学・教養	1.8	1.2	1.8
研修・会議	1.7	0.8	7.4
ビジネス	1.2	1.6	4.6
招待・接待	1.0	1.6	1.1
その他	1.7	4.3	4.6
サンプル数	1122組	507組	285組

注1. 表によっては、「その他」を省いている。

注2. 不明は、構成比(%)から省いた。

以下、30歳代18.7%、40歳代14.0%、50歳代13.8%を示す。竹瓦温泉ではやはり20歳代29.7%が多く、以下、30歳代21.1%、50歳代18.9%、40歳代14.4%と続く。男女比では海地獄と岡本屋がそれぞれ58.9%、60.9%と女性が6割を占めているのに対して、竹瓦温泉は男性51.6%の方がやや多い。

(2) 職業構成(表2)

いずれの施設も販売・事務・労務職が多い。海地獄では販売・事務・労務職23.9%、専門・技術職19.9%、専業主婦12.9%が10%を超えている。岡本屋では販売・事務・労務職23.3%、専門・技術職18.5%、公務員11.6%、竹瓦温泉では販売・事務・労務職24.7%、専門・技術職13.7%、公務員13.3%となる。

(3) 同行者構成(表3)

いずれの施設も夫婦・同伴、友人・知人が多い。海地獄では夫婦・同伴30.7%、友人・知人24.0%、家族連れ15.8%、家族・親族12.8%と続き、職場の人10.0%も比較的多い。岡本屋では夫婦・同伴34.6%、友人・知人23.5%、家族連れ16.0%が10%を超えている。竹瓦温泉では友人・知人33.4%、夫婦・同伴21.1%、自分だけ14.4%、家族連れ11.2%となり、海地獄や岡本屋と比べると、自分だけが目立つ。

(4) 同行者数(表4)

次に同行者数をみると、その平均値は海地獄5.3人、岡本屋3.5人、竹瓦温泉3.0人となる。人数的には2人連れが最も多い。海地獄では2人41.2%、4人12.7%、10人以上12.6%、3人10.8%を示し、10人以上12.6%の団体も1割を超えている。岡本屋では2人43.6%、3人16.0%、4人14.8%、竹瓦温泉では2人38.4%、3人16.5%、1人14.4%、4人13.7%となる。竹瓦温泉は1人が14.4%を占めるのに対して、海地獄は10人以上が12.6%と多い。

(5) 別府までの交通機関(表5)

別府までの交通機関としては自家用車が最も多い。海地獄では自家用車53.6%、飛行機23.5%が多い。岡本屋では自家用車73.7%が圧倒的で、竹瓦温泉では自家用車41.6%、JR28.4%、飛行機13.0%を示す。飛行機の利用は海地獄が23.5%と最も多く、遠隔地からの入り込みが多いことを示している。

(6) 別府温泉郷内の移動手段(表6)

別府内での移動手段としては自家用車が最も多い。海地獄では自家用車57.8%、団体貸切バス15.7%、レンタカー11.8%が10%を超えている。岡本屋では自家用車78.7%が圧倒的に多い。竹瓦温泉では自家用車43.4%、タクシー18.6%、徒歩16.5%が多い。海地獄は団体貸切バスが15.7%、レンタカーが11.8%と多く、別府ではいわゆる観光地として機能していることが分かる。

(7) 市場構成(表7)

市場構成はいずれの施設も九州が一番多い。海地獄では九州46.1%、関東17.1%、近畿14.7%、中国12.8%を示し、九州の福岡は26.9%を占めている。岡本屋では九州74.8%が圧倒的で、中でも福岡が44.1%と多い。竹瓦温泉では九州51.3%、近畿16.7%、関東11.0%、中国10.6%を示すが、福岡は24.6%に留まっている。岡本屋は福岡44.1%の占める割合が高く、これに対して海地獄では関東17.1%、近畿14.7%、中国12.8%と遠隔地からの入り込みが目立っている。

3. 旅行目的と旅程

(1) 旅行目的(表8)

旅行目的は観光が最も多い。海地獄では観光86.5%が圧倒的で、次が保養・休養10.9%となる。岡本屋では観光58.8%、保養・休養31.2%、親睦・コミュニケーション12.4%、湯治11.2%と目的は幅広い。竹瓦温泉も岡本屋と同様で、観光48.1%、保養・休養29.8%、湯治17.9%、親睦・コミュニケーション11.6%が多い。竹瓦温泉では湯治17.9%が目立つ。

(2) 別府温泉郷への来訪理由(表9)

最も多い来訪理由は温泉が有名となる。海地獄では温泉が有名58.9%、保養・休養によい14.4%、景色がよい13.6%。観光施設がある13.1%が10%を超えている。岡本屋では温泉が有名41.6%、保養・休養によい25.4%、温泉の効能(適応症)14.4%、以前に来た14.4%、景色がよい13.4%、料理・食べ物が美味しい11.0%など、目的の幅が広い。竹瓦温泉では温泉が有名56.8%、保養・休養によい27.4%、温泉の効能16.1%、以前にきた15.1%、交通条件がよい10.2%を示す。

保養・休養によいのは岡本屋25.4%、竹瓦温泉27.4%

表 9 別府温泉郷への来訪理由 MA

来訪の理由	海地獄	岡本屋	竹 瓦
温泉が有名	58.9%	41.6%	56.8%
温泉の効能（適応症）	8.6	14.4	16.1
保養・休養によい	14.4	25.4	27.4
交通条件がよい	6.1	8.9	10.2
旅館の設備がよい	2.6	2.8	1.4
宿泊料金が手頃	5.9	7.7	3.5
料理・食べ物が美味しい	4.6	11.0	5.6
景色が良い	13.6	13.4	4.9
以前に来た	8.0	14.4	15.1
紹介・口コミ	2.2	2.8	3.5
観光施設がある	13.1	8.3	2.8
旅行者の斡旋	9.4	0.8	0.7
その他	5.8	11.8	8.8
サンプル数	1122 組	507 組	285 組

表 10 別府温泉郷選定の情報源 SA

別府選定の情報源	海地獄	岡本屋	竹 瓦
テレビ・ラジオ等の番組	4.2%	3.6%	5.3%
旅行情報誌	27.9	20.5	18.3
旅行者の紹介（斡旋）	10.2	1.4	1.1
友人・知人の紹介（口コミ）	16.8	21.3	24.6
ガイドブック	8.3	7.9	11.6
パンフレット・チラシ類	2.5	0.8	2.8
駅や現地の案内所	1.2	0.4	2.1
以前来たから	17.6	26.0	20.8
インターネット	1.2	0.2	0.4
知らない	2.0	1.8	0.7
その他	4.5	4.9	6.3
サンプル数	1122 組	507 組	285 組

表 11 全体の旅程 SA

	海地獄	岡本屋	竹 瓦
0泊（日帰り）	12.0%	31.2%	34.0%
1泊	44.0	45.1	37.5
2泊	25.8	7.1	18.2
3泊	6.9	2.6	3.2
4泊	3.0	1.8	3.5
5泊	1.0	0.2	0.4
6泊	0.4	0.6	0.7
7泊以上	1.4	0.4	2.1
サンプル数	1122 組	507 組	285 組

％、温泉の効能では岡本屋 25.4％、竹瓦温泉 27.4％、景色が良いでは海地獄 13.6％、岡本屋 13.4％、以前に来たでは岡本屋 14.4％、竹瓦温泉 15.1％の占有率が比較的高い。

(3) 別府選定の情報源（表 10）

情報源は、旅行情報誌、友人・知人の紹介（口コミ）、以前来たからが 3 本柱となる。海地獄では旅行情報誌 27.9％、友人・知人の紹介 16.8％、以前来たから 17.6％、旅行者の紹介（斡旋） 10.2％が 10％を超えている。旅行者の紹介（斡旋）の占有率が比較的高い。岡本屋では旅行情報誌 20.5％、友人・知人の紹介

表 12 別府温泉郷の旅程 SA

	海地獄	岡本屋	竹 瓦
0泊（日帰り）	34.0%	43.8%	48.4%
1泊	58.2	48.9	41.4
2泊	5.0	1.6	7.0
3泊	0.8	0.4	1.1
4泊	0.3	—	0.7
5泊以上	0.6	0.4	0.7
サンプル数	1122 組	507 組	285 組

表 13 別府温泉郷の来訪頻度 SA

別府の来訪頻度	海地獄	岡本屋	竹 瓦
はじめて	35.8%	10.7%	29.7%
めったに来ない	39.3	22.9	26.0
年に 1 回	10.2	19.5	10.9
年に 2～3 回	7.0	23.1	16.5
月に 1 回	1.4	7.5	3.5
月に 2～3 回	0.9	4.1	4.9
週に 1 回	0.3	1.4	3.2
その他	3.3	4.5	0.7
サンプル数	1122 組	507 組	285 組

表 14 当施設の利用回数 SA

当施設の利用回数	海地獄	岡本屋	竹 瓦
1 回目	46.7%	36.0%	70.1%
2 回目	21.1	15.0	9.8
3 回目	12.4	9.7	5.6
4 回目	3.6	3.2	2.1
5 回目	4.2	4.7	2.8
6 回目	1.0	1.2	0.4
7 回目	—	0.6	0.4
8 回目	0.4	0.2	—
9 回目	—	—	—
10 回目以上	0.6	5.3	2.1
平均	1.8 回	2.7 回	2.2 回
最大	15 回	23 回	80 回
最小	1 回	1 回	1 回
サンプル数	1122 組	507 組	285 組

21.3％、以前来たから 26.0％が 20％を超えており、以前来たから 26.0％が最も多い。竹瓦温泉では旅行情報誌 18.3％、友人・知人の紹介 24.6％、以前来たから 20.8％、ガイドブック 11.6％を示し、ガイドブックの占める割合が比較的高い。

(4) 全体の旅程（表 11）

全体の旅程は 1 泊と 0 泊（日帰り）が多い。海地獄では 1 泊 44.0％、2 泊 25.8％、0 泊（日帰り） 12.0％を示す。岡本屋では 1 泊 45.1％と 0 泊（日帰り） 31.2％が目立つ。竹瓦温泉では 1 泊 37.5％、0 泊（日帰り） 34.0％、2 泊 18.2％が多い。

(5) 別府温泉郷の旅程（表 12）

別府温泉郷の旅程は全体の旅程と同様に 1 泊と 0 泊

(日帰り)が多い。海地獄では1泊58.2%と0泊(日帰り)34.0%を示して1泊が多いのに対し、岡本屋では1泊48.9%と0泊(日帰り)43.8%は拮抗してい

る。竹瓦温泉では0泊(日帰り)48.4%が1泊41.4%をやや上回っている。

表15 主な観光施設の入り込み状況 MA

主な観光施設		海地獄	岡本屋	竹瓦
駅前付近・北浜	竹瓦温泉(普通浴場)	2.1%	3.9%	60.9%
	竹瓦温泉(砂湯)	2.5	3.2	63.0
	不老泉	0.1	0.2	2.1
	駅前高等温泉	2.9	2.4	3.9
	商店街(別府駅前)	5.4	2.8	8.8
	料飲街(別府駅前)	2.0	3.2	6.7
	別府タワー	3.0	1.6	4.9
	トキハ百貨店	1.5	3.0	8.1
	コスモピア	1.8	2.2	6.0
スパビーチ	0.4	0.6	0.7	
明礬	鶴寿泉	0.3%	0.8%	0.4%
	地藏泉	2.9	3.6	2.8
	湯の花小屋	9.2	29.0	7.4
	温泉保養ランド	2.6	9.5	8.5
	十文字原高原	1.3	4.3	2.5
鉄輪	むし湯	1.8%	3.0%	4.2%
	熱の湯	1.4	1.0	0.7
	筋湯	0.7	1.8	0.7
	洪の湯	1.2	0.6	0.4
	ひょうたん温泉	2.8	5.7	6.7
	秘宝館	1.2	4.1	3.5
	花卉総合指導センター	0.4	0.4	1.1
	貴船城	0.8	0.4	2.8
	やまなみの湯	0.8	1.6	1.1
	ヤングセンター	0.6	1.2	0.4
地獄	坊主地獄	30.5%	11.6%	14.4%
	海地獄	100.0	18.3	19.0
	山地獄	43.4	11.4	13.4
	カマド地獄	35.5	10.1	13.0
	鬼山地獄	35.6	10.8	12.7
	白池地獄	34.8	9.7	12.0
	金龍地獄	33.4	9.9	10.9
	血の池地獄	49.8	16.6	18.7
	竜巻地獄	41.7	14.6	15.8
市内	柴石温泉	0.4%	1.4%	3.2%
	亀川温泉	0.8	1.2	2.5
	堀田温泉	0.7	0.8	2.1
	湯都ピア脇浜	0.2	1.2	1.4
	別府公園	2.2	2.6	4.6
	ビーコンプラザ	3.5	3.6	5.3
	グローバルタワー	3.0	3.0	1.1
	海浜公園	2.0	1.6	1.8
	市立美術館	0.8	-	0.4
	別府湾クルーズ	0.4	0.6	0.7
	竹細工伝統産業会館	1.3	1.8	1.8
	日本竹の博物館	0.8	1.2	0.7
	スギノイパレス	4.4	5.7	8.5
	アクアビート	2.4	1.8	1.1
ケーブルラクテンチ	1.1	3.2	3.2	
パチンコ	0.5	3.6	0.4	
郊外	高崎山	13.6%	9.7%	9.5%
	マリーナパレス	8.5	7.9	6.0
	別府ロープウェイ	8.0	8.5	4.9
	志高湖	1.0	2.6	4.6
	城島後楽園	4.5	8.6	5.3
	アフリカンサファリ	7.0	12.4	3.2
	ハーモニーランド	2.9	3.2	1.8
	ゴルフ場	0.1	2.2	1.1
	サンプル数	1122組	507組	285組

(6) 別府温泉郷への来訪頻度(表13)

別府温泉郷への来訪頻度はめったに来ない、はじめが多い。海地獄ではめったに来ない39.3%とはじめて35.8%が30%、年に1回10.2%が10%を超える。はじめとめったに来ないを合わせると75.1%を占める。岡本屋では年に2~3回23.1%、めったに来ない22.9%、年に1回19.5%、はじめ10.7%を示し、リピータが多い。竹瓦温泉でははじめ29.7%、めったに来ない26.0%、年に2~3回16.5%、年に1回10.9%を示し、岡本屋よりリピータ率は低い。

(7) 当該施設の利用回数(表14)

当該施設の利用回数の平均値は海地獄1.8回、岡本屋2.7回、竹瓦温泉2.2回を数え、岡本屋の利用回数が最も多い。海地獄では1回目46.7%、2回目21.1%、3回目12.4%が多い。岡本屋では1回目36.0%、2回目15.0%が10%を超えているが、10回目以上も5.3%を占めている。竹瓦温泉では1回目70.1%が多数を占めている。

4. 観光行動パターン

(1) 主な観光施設の入り込み状況(表15)

別府温泉郷における主な観光施設の入り込み状況は、当該施設間で若干の差は見られるが、大勢に変化は見られない。海地獄の場合は地獄めぐりが特化しているが、血の池地獄49.8%、山地獄43.4%、竜巻地獄41.7%の入り込み率が高い。他の地獄は30%台に留まっている。岡本屋の場合は湯の花小屋29.0%が高い。岡本屋

表16 別府温泉郷以外の立ち寄り先 MA

別府以外の立ち寄り先	海地獄	岡本屋	竹瓦
立ち寄らない	26.3%	38.3%	34.2%
長崎	13.5	2.2	4.6
雲仙	9.0	1.0	3.5
熊本	12.7	5.1	8.1
阿蘇	21.8	12.8	7.7
宮崎	4.7	1.0	7.0
福岡	15.2	5.1	13.7
由布院	41.7	35.3	25.0
国東半島	8.7	4.9	4.9
宇佐神宮	6.9	1.2	4.6
耶馬溪	4.1	5.5	3.9
臼杵	2.8	2.4	3.5
大分市	11.5	8.3	18.3
サンプル数	1122組	507組	285組

で休憩した後、湯の花小屋を見学するパターンであろう。竹瓦温泉の場合は竹瓦温泉（普通浴場）**60.9%**、竹瓦温泉（砂湯）**63.0%**を示し、わずかながら砂湯の入り込み率が高い。

当該施設ごとに**5%**以上に限って、各施設の入り込み率をみることにしよう。まず、海地獄の場合は各地獄を除くと、商店街（別府駅前）**5.4%**、湯の花小屋**9.2%**、高崎山**13.6%**、マリンパレス**8.5%**、別府ロープウェイ**8.0%**、アフリカンサファリ**7.0%**の**6**カ所が**5%**を超えている。

岡本屋の場合は湯の花小屋と各地獄を除くと、温泉保養ランド**9.5%**、ひょうたん温泉**5.7%**、スギノイパレス**5.7%**、高崎山**9.7%**、マリンパレス**7.9%**、別府ロープウェイ**8.5%**、城島後楽園**8.3%**、アフリカンサファリ**12.4%**の**8**カ所が**5%**を超えている。

竹瓦温泉の場合は竹瓦温泉と各地獄を除くと、商店街（別府駅前）**8.8%**、料飲街（別府駅前）**6.7%**、トキハ百貨店**8.1%**、コスモピア**6.0%**、湯の花小屋**7.4%**、温泉保養ランド**8.5%**、ひょうたん温泉**6.7%**、ピーコンプラザ**5.3%**、スギノイパレス**8.5%**、高崎山**9.5%**、マリンパレス**6.0%**、城島後楽園**5.3%**の**12**カ所が**5.0%**を超えている。

この表から言えることは、別府観光の定番は相変わらず地獄めぐりと高崎山であることが判明した。しかし湯の花小屋、ひょうたん温泉、温泉保養ランド、スギノイパレス、マリンパレス、別府ロープウェイ、城島後楽園、アフリカンサファリなどの入り込み率が、各施設共に支持されており、温泉施設とテーマパーク系の施設が人気を集めていることが分かった。

(2) 別府温泉郷以外の立ち寄り先 (表 16)

別府以外の立ち寄り先をみることで、広大な観光行動パターンを明らかにしよう。海地獄では由布院が**41.7%**と一番多いが、以下、立ち寄らない**26.3%**、阿蘇**21.8%**、福岡**15.2%**、長崎**13.5%**、熊本**21.8%**、大分市**11.5%**と続く。岡本屋の場合は立ち寄らないが**38.3%**と最も多いが、以下、由布院**35.3%**、阿蘇**12.8%**、大分市**8.3%**と続く。竹瓦温泉の場合は立ち寄らない**34.2%**が最も多く、以下、由布院**25.0%**、大分市**18.3%**、福岡**13.7%**と続く。各施設の傾向をまとめると、別府以外の立ち寄り先として、由布院が最も多く、その他では阿蘇、福岡、大分市方面との結び付きが強いといえよう。

5. 発地別にみた観光行動

ここでは、観光客の発地、つまり市場（誘致圏）別に観光客の動向をとらえることにしよう。発地別の分析は地理学の真髄であって、応用地理学の立場ではエリアマーケティングに活用出来るからである。サンプル数の多い海地獄を事例にして論を進めたい。

(1) 発地別にみた情報源 (表 17)

別府温泉郷選定の際の情報源は全体的には旅行情報誌**29.0%**、以前来たから**18.3%**、友人・知人の紹介（口コミ）**17.5%**、旅行業者の紹介（斡旋）**10.6%**が**10%**を超えている。発地別にみると、関東は友人・知人の紹介**27.5%**、旅行業者の紹介**24.2%**、旅行情報誌**22.5%**が多い。中部もほぼ同様の傾向だが、近畿は旅行情報誌**32.7%**、中国は以前来たから**34.3%**、四国は旅行情報誌**33.3%**、以前来たから**33.3%**が多い。九州は旅行情報誌**29.2%**、以前来たから**22.3%**が多く、九州の大分は以前来たから**29.7%**が目立つ。

(2) 発地別にみた同行者数 (表 18)

同行者数の平均値は全体では**5.32**人を数える。これを上回る発地は中部**6.52**人、四国**8.00**人、九州**5.62**人となる。九州は福岡**5.98**人、その他**5.73**人が多く、九州の大分は**3.80**人に留まっている。同行者数は**2**人が最も多く、発地別では関東**47.9%**、中部**44.6%**、近畿**49.3%**、中国**35.8%**、四国**44.0%**、九州**36.4%**となる。**10**人以上をみると、四国が**20.0%**と最も多く、これに対して九州の大分は**2.9%**に過ぎない。

(3) 発地別にみた全体の旅程 (表 19)

全体の旅程の内訳は全体的には宿泊**87.3%**、日帰り**12.7%**を示し、宿泊客が圧倒的に多い。宿泊では関東は**2泊55.2%**が最も多く、以下**3泊16.8%**、**4泊9.7%**、**1泊9.7%**と続き、連泊が多い。中部と近畿は**2泊**が最多で、次に**1泊**が多い。つまり中部は**2泊48.6%**、**1泊21.2%**、**3泊13.6%**、近畿は**2泊45.7%**、**1泊28.1%**、**3泊12.4%**を示す。これに対して中国は**1泊57.4%**が多く、ついで**2泊23.9%**を示し、**3泊2.9%**は少ない。四国は**1泊**と**2泊**がそれぞれ**42.3%**を示し、**3泊3.8%**は少ない。九州は**1泊67.7%**が多く、ついで日帰り**19.7%**となる。しかし九州の大分は日帰りが**61.7%**と最も多く、**1泊**は**28.3%**に留まってい

表17 発地別にみた別府温泉郷選定の情報源(海地獄)

SA

	合計	旅行情報誌	以前来たから	友人・知人の紹介	旅行者の斡旋	ガイドブック	テレビ・ラジオの番組	パンフ・チラシ類	知らない	駅や現地案内所	インターネット	その他
全体構成比	1081組 100.0%	313組 19.0%	198組 18.3%	189組 17.5%	115組 10.6%	93組 8.6%	47組 4.3%	28組 2.6%	22組 2.0%	13組 1.2%	13組 1.2%	50組 4.6%
北海道	4組	50.0%	—%	25.0%	—%	—%	—%	—%	—%	—%	—%	25.0%
東北	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
関東	182	22.5	2.7	27.5	24.2	9.9	4.4	4.4	0.5	—	1.6	2.2
中部	66	39.4	3.0	15.2	24.2	4.5	6.1	6.1	—	—	—	1.5
近畿	159	32.7	14.5	17.0	11.3	5.0	6.9	2.5	1.3	—	1.3	7.5
中国	143	23.1	34.3	11.9	5.6	10.5	2.1	1.4	2.8	2.1	1.4	4.9
四国	24	33.3	33.3	16.7	4.2	4.2	—	—	—	—	4.2	4.2
九州	497	29.2	22.3	16.1	5.6	9.7	4.2	2.0	3.0	2.0	1.0	4.8
(福岡)	(291)	(28.9)	(25.8)	(14.1)	(5.2)	(9.3)	(4.8)	(2.4)	(3.4)	(1.7)	(1.0)	(3.4)
(大分)	(64)	(18.8)	(29.7)	(15.6)	(1.6)	(4.7)	(6.3)	(3.1)	(4.7)	(3.1)	(1.6)	(10.9)
(その他)	(142)	(34.5)	(12.0)	(20.4)	(8.5)	(12.7)	(2.1)	(0.7)	(1.4)	(2.1)	(0.7)	(4.9)

表18 発地別にみた同行者数(海地獄)

SA

	合計	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人~	平均
全体構成比	1117組 100.0%	25組 2.2%	462組 41.5%	121組 10.8%	143組 12.8%	103組 9.2%	49組 4.4%	25組 2.2%	32組 2.9%	16組 1.4%	141組 12.6%	5.32人
北海道	4組	—%	100.0%	—%	—%	—%	—%	—%	—%	—%	—%	2.00人
東北	1	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	2.00
関東	188	3.2	47.9	11.7	12.8	4.3	2.1	0.5	3.7	1.6	12.2	4.91
中部	67	7.5	44.6	6.0	6.0	4.5	9.0	—	—	7.5	14.9	6.52
近畿	165	3.6	49.3	8.5	9.7	4.2	3.0	2.4	3.0	3.0	13.3	4.61
中国	145	1.4	35.8	7.6	14.5	15.9	11.0	2.1	0.7	0.7	10.3	4.78
四国	25	—	44.0	8.0	8.0	12.0	8.0	—	—	—	20.0	8.00
九州	517	1.2	36.4	13.2	14.7	11.2	3.1	3.3	3.7	0.4	12.8	5.62
(福岡)	(302)	(0.7)	(34.8)	(13.9)	(12.9)	(9.9)	(2.6)	(4.0)	(6.3)	(0.3)	(14.6)	(5.98)
(大分)	(69)	—	(47.9)	(14.5)	(4.3)	(4.3)	(5.8)	(4.3)	—	—	(2.9)	(3.80)
(その他)	(146)	(2.7)	(34.9)	(11.0)	(17.1)	(17.1)	(2.7)	(1.4)	(0.7)	(0.7)	(13.7)	(5.73)

表19 発地別にみた全体の旅程(海地獄)

SA

	全体	日帰り	宿泊	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊	7泊~
全体構成比	1060組 100.0%	135組 12.7%	925組 87.3%	493組 46.5%	289組 27.3%	77組 7.3%	34組 3.2%	11組 1.0%	5組 0.5%	16組 1.5%
北海道	4組	—%	100.0%	50.0%	—%	50.0%	—%	—%	—%	—%
東北	1	—	100.0	—	—	100.0	—	—	—	—
関東	185	3.2	96.8	9.7	55.2	16.8	9.7	1.6	1.1	2.7
中部	66	4.5	95.5	21.2	48.6	13.6	6.1	—	3.0	3.0
近畿	153	4.6	95.4	28.1	45.7	12.4	3.3	3.9	0.7	1.3
中国	138	13.0	87.0	57.4	23.9	2.9	0.7	0.7	—	1.4
四国	26	11.5	88.5	42.3	42.3	3.8	—	—	—	—
九州	482	19.7	80.3	67.7	8.5	1.7	1.2	0.2	—	1.0
(福岡)	(281)	(17.1)	(82.9)	(72.9)	(9.3)	(0.7)	—	—	—	—
(大分)	(60)	(61.7)	(38.3)	(28.3)	(8.3)	(1.7)	—	—	—	—
(その他)	(141)	(7.1)	(92.9)	(73.8)	(7.1)	(3.5)	(4.3)	(0.7)	—	(3.5)

表20 発地別にみた別府温泉郷における旅程(海地獄)

SA

	全体	日帰り	宿泊	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊~
全体構成比	1112組 100.0%	381組 34.3%	731組 65.7%	654組 58.8%	56組 5.0%	9組 0.8%	3組 0.3%	7組 0.6%
北海道	4組	—%	100.0%	100.0%	—%	—%	—%	—%
東北	1	—	100.0	—	—	—	—	—
関東	186	36.6	63.5	52.1	8.6	1.6	1.1	—
中部	67	19.4	80.6	65.7	13.4	1.5	—	—
近畿	163	36.2	63.8	56.4	4.9	0.6	—	1.3
中国	145	28.3	71.7	64.1	4.8	2.1	—	—
四国	26	15.4	84.6	84.6	—	—	0.7	—
九州	515	38.1	61.9	57.8	2.7	0.2	—	1.5
(福岡)	(301)	(36.5)	(63.4)	(61.2)	(2.0)	(0.3)	—	—
(大分)	(68)	(72.1)	(27.9)	(23.5)	(4.4)	—	—	—
(その他)	(146)	(25.3)	(74.6)	(67.2)	(3.4)	—	—	(3.4)

表 21 発地別にみた別府温泉郷内の移動手段（海地獄） SA

	合 計	自家用車	団体貸切バス	レンタカー	公共バス	タクシー	定期観光バス
全 体 構 成 比	1104 組 100.0%	313 組 58.8%	198 組 15.9%	189 組 12.0%	115 組 6.1%	93 組 5.3%	47 組 1.4%
北海道	4 組	— %	50.0%	50.0%	— %	— %	— %
東 北	1 組	—	—	—	—	100.0	—
関 東	185	17.3	43.8	21.1	8.6	8.1	1.1
中 部	66	18.2	40.9	16.7	7.6	12.1	3.0
近 畿	163	33.7	19.0	23.9	11.0	8.0	3.7
中 国	144	84.7	2.8	2.1	4.9	3.5	—
四 国	25	64.0	16.0	—	8.0	12.0	—
九 州	511	80.4	4.9	7.4	3.3	2.7	1.2
(福 岡)	(298)	(81.2)	(5.4)	(5.7)	(3.4)	(3.0)	(1.3)
(大 分)	(68)	(91.2)	(2.9)	(1.5)	(1.5)	(1.5)	(1.5)
(その他)	(145)	(73.8)	(4.8)	(13.8)	(4.1)	(2.8)	(0.7)

表 22 発地別にみた別府温泉郷以外の立ち寄り先（海地獄） MA

	合 計	立ち寄らない	由布院	阿 蘇	福 岡	長 崎	熊 本	大分市	雲 仙	国 東	宇 佐	宮 崎
全 体 構 成 比	1076 組 100.0%	294 組 27.3%	468 組 43.5%	42 組 22.5%	169 組 15.7%	150 組 13.9%	140 組 13.0%	126 組 11.7%	98 組 9.1%	96 組 8.9%	77 組 7.2%	53 組 4.9%
北海道	4 組	25.0%	— %	50.0%	75.0%	50.0%	50.0%	— %	— %	— %	50.0%	50.0%
東 北	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
関 東	187	4.3	64.7	52.9	39.0	45.5	33.2	17.6	27.3	18.7	8.6	10.7
中 部	67	3.0	55.2	40.3	28.4	32.8	32.8	7.5	28.4	9.0	—	16.4
近 畿	161	11.2	60.2	31.1	19.9	13.0	17.4	2.5	11.2	14.3	13.7	8.1
中 国	143	39.9	32.9	14.0	11.9	4.9	9.8	4.2	2.8	5.6	4.2	1.4
四 国	25	28.0	16.0	28.0	12.0	12.0	8.0	8.0	—	—	—	4.0
九 州	489	41.1	33.1	7.6	4.5	2.0	2.0	2.5	1.2	4.9	6.3	0.8
(福 岡)	(291)	(40.9)	(34.4)	(5.8)	(4.5)	(1.0)	(1.7)	(2.7)	(1.4)	(4.8)	(7.2)	(0.7)
(大 分)	(64)	(60.9)	(17.2)	(1.6)	—	(3.1)	—	—	(1.6)	(1.6)	(3.1)	—
(その他)	(134)	(32.1)	(38.1)	(14.2)	(6.7)	(3.7)	(3.7)	(3.0)	(0.7)	(6.7)	(6.0)	(1.5)

注. 耶馬溪（46組）、臼杵（31組）、その他（52組）は省略。

表 23 発地別にみた別府温泉郷以外の宿泊先（海地獄） MA

	合 計	由布院	阿 蘇	長 崎	雲 仙	福 岡	大分市	宮 崎	熊 本	黒 川	北九州	鹿児島
全 体 構 成 比	498 組 100.0%	174 組 34.9%	88 組 17.7%	67 組 13.5%	65 組 13.1%	59 組 11.8%	48 組 9.6%	30 組 6.0%	22 組 4.4%	19 組 3.8%	18 組 3.6%	18 組 3.6%
北海道	2 組	— %	100.0%	— %	100.0%	— %	— %	— %	— %	— %	— %	— %
東 北	1 組	—	—	—	—	100.0	—	—	100.0	—	—	—
関 東	160	20.6	33.8	28.1	21.3	12.5	11.9	9.4	5.0	1.9	3.8	5.0
中 部	44	27.3	13.6	15.9	25.0	13.6	4.5	13.6	4.5	—	—	4.5
近 畿	111	37.8	14.4	6.3	11.7	9.9	7.2	5.4	4.5	9.9	5.4	3.6
中 国	50	42.0	14.0	6.0	6.0	14.0	2.0	4.0	8.0	—	2.0	6.0
四 国	14	21.4	7.1	—	—	28.6	—	—	—	14.3	21.4	—
九 州	116	45.7	1.7	4.3	1.7	8.6	15.5	0.9	1.7	2.6	1.7	0.9
(福 岡)	(69)	(69.6)	—	(2.9)	(2.9)	(1.4)	(7.2)	—	—	(2.9)	(1.4)	—
(大 分)	(8)	(50.0)	—	—	—	(25.0)	(12.5)	—	—	—	—	—
(その他)	(39)	(28.2)	(2.6)	(7.7)	—	(17.9)	(30.8)	(2.6)	(5.1)	(2.6)	(2.6)	(2.6)

注. その他（81組）は省略。

る。

(4) 発地別にみた別府温泉郷における旅程（表 20）

別府での旅程の内訳は宿泊 65.7%、日帰り 34.3% を示し、全体の旅程同様に宿泊客が多い。しかし関東、近畿、九州は宿泊の割合が平均値 65.4% を下回り、日帰りの割合が平均値 34.3% を上回っている。つまり関東

は宿泊 63.4%、日帰り 36.6%、近畿は宿泊 63.8%、日帰り 36.2%、九州は宿泊 61.9%、日帰り 38.1% を示す。

日帰りの数値が平均値より高いということは、関東、近畿、九州は別府以外に宿泊するケースが多いことを物語っている。中部、中国、四国は宿泊の割合が平均値 65.7% を上回っている。具体的には中部 80.6%、中国

71.7%、四国84.6%を示し、別府での宿泊率が比較的高いといえよう。

(5) 発地別にみた別府温泉郷内での移動手段 (表 21)

別府温泉郷における移動手段は全体的には自家用車58.8%が多い。しかし発地別でみると関東は団体貸切バス43.8%、レンタカー21.1%、自家用車17.3%となり、団体貸切バスの利用が目立つ。中部もほぼ同様な傾向を示すが、近畿は自家用車33.7%、レンタカー23.9%が目立つ。中国は自家用車84.7%が圧倒的で、四国も自家用車64.0%が多い。九州は自家用車80.4%を占め、中でも福岡81.2%、大分91.2%の自家用車利用が多い。

(6) 発地別にみた別府温泉郷以外の立ち寄り先 (表 22)

別府温泉郷以外の立ち寄り先は全体的には立ち寄らない27.3%が30%に満たない。具体的な立ち寄り先としては由布院43.5%、阿蘇22.5%、福岡15.7%、長崎13.9%、熊本13.0%、大分市11.7%が10%台を超えており、以下、雲仙9.1%、国東8.9%、宇佐7.2%、宮崎4.9%と続く。

関東では立ち寄らない4.3%とわずかで、由布院64.7%、阿蘇52.9%、長崎45.5%、福岡39.0%、熊本33.2%、雲仙27.3%などが20%を超え、九州北部の広域観光ルート上の観光地や都市を訪問していることが分かる。中部や近畿も関東とほぼ同様の傾向を示す。新傾向として国東18.7%、大分市17.6%を訪問するケースが出てきた。

中国、四国、九州の場合は別府以外は立ち寄らないが多い。それぞれ39.9%、28.0%、41.1%を示し、別府を目的地に選定していることが比較的多い。しかし中国と九州の場合は由布院へはそれぞれ32.9%、33.1%が立ち寄っている。四国は由布院16.0%よりも阿蘇28.0%への訪問率が高い。

(7) 発地別にみた別府以外の宿泊先 (表 23)

別府以外の宿泊先をみてみよう。全体的には、由布院34.9%、阿蘇17.7%、長崎13.5%、雲仙13.1%と続き、高度経済成長期の広域観光ルート上の観光地を訪問している。福岡や大分市で宿泊するケースも目立ち、これは高度経済成長期には見られなかった傾向と言えよう。黒川、北九州での宿泊も新傾向となろう。

関東の場合は阿蘇33.8%、長崎28.1%、雲仙21.3%、由布院20.6%と続く。中部の場合は由布院27.3%

表 24 別府温泉郷の評価 SA

評価項目		海地獄	岡本屋	竹 瓦
海や山の風景	大変良い (5)	43.3%	41.2%	39.8%
	良い (4)	37.2	39.1	41.3
	普通 (3)	9.1	14.0	17.8
	悪い (2)	0.4	1.0	1.1
	大変悪い (1)	—	0.4	—
	平均値 (5段階)	4.37	4.25	4.20
宿泊施設	大変良い (5)	16.0%	12.8%	17.6%
	良い (4)	34.2	32.9	36.3
	普通 (3)	31.6	42.4	43.7
	悪い (2)	1.7	2.4	1.6
	大変悪い (1)	—	1.0	0.8
	平均値 (5段階)	3.77	3.59	3.68
観光施設	大変良い (5)	16.8%	11.6%	13.3%
	良い (4)	39.2	35.3	33.7
	普通 (3)	30.9	41.9	45.1
	悪い (2)	1.5	4.5	7.1
	大変悪い (1)	0.1	0.6	0.8
	平均値 (5段階)	3.80	3.56	3.52
温泉施設	大変良い (5)	25.8%	28.6%	403.3%
	良い (4)	33.0	36.7	36.4
	普通 (3)	24.7	27.2	21.7
	悪い (2)	0.6	0.8	1.6
	大変悪い (1)	—	0.2	—
	平均値 (5段階)	4.00	3.99	4.16
交通事情	大変良い (5)	13.6%	11.6%	14.7%
	良い (4)	31.0	31.2	31.7
	普通 (3)	36.7	40.6	40.8
	悪い (2)	6.3	10.3	11.7
	大変悪い (1)	0.7	1.0	1.1
	平均値 (5段階)	3.57	3.45	3.47
買物施設	大変良い (5)	8.1%	5.9%	5.8%
	良い (4)	24.6	17.0	18.8
	普通 (3)	45.9	54.4	60.0
	悪い (2)	5.7	12.4	13.3
	大変悪い (1)	0.4	2.0	2.1
	平均値 (5段階)	3.40	3.14	3.13
料飲施設	大変良い (5)	7.9%	7.9%	8.5%
	良い (4)	23.4	24.3	22.6
	普通 (3)	50.2	52.6	58.4
	悪い (2)	4.4	7.5	9.3
	大変悪い (1)	0.1	0.8	1.2
	平均値 (5段階)	3.40	3.33	3.28
町並み・景観	大変良い (5)	20.1%	15.2%	13.1%
	良い (4)	36.3	34.1	37.8
	普通 (3)	28.0	37.5	42.1
	悪い (2)	1.8	6.5	6.6
	大変悪い (1)	0.2	0.4	0.4
	平均値 (5段階)	3.86	3.61	3.57
観光情報	大変良い (5)	15.6%	12.2%	12.2%
	良い (4)	34.7	27.6	34.5
	普通 (3)	33.2	46.6	44.3
	悪い (2)	3.7	7.3	7.8
	大変悪い (1)	0.5	0.8	1.2
	平均値 (5段階)	3.70	3.46	3.49
温泉地の印象	大変良い (5)	33.7%	29.4%	34.0%
	良い (4)	35.9	40.8	43.6
	普通 (3)	16.0	22.7	19.7
	悪い (2)	0.4	1.4	2.3
	大変悪い (1)	0.1	0.2	0.4
	平均値 (5段階)	4.19	4.04	4.08

表 25 今後、充実すべき部分 MA

今後、充実すべき部分	海地獄	岡本屋	竹瓦
散歩道	12.9%	10.1%	11.2%
公園	7.1	5.5	4.6
駐車場	12.5	22.5	26.7
ベンチ	3.4	1.6	1.4
展望台	7.5	8.5	4.6
バス路線	7.0	6.1	5.3
共同湯	5.1	6.7	10.5
露天風呂	19.8	23.1	17.9
観光案内施設	10.8	8.3	13.3
観光宣伝	6.1	6.9	6.7
買物施設	7.8	11.2	8.1
料飲施設	3.9	5.3	6.0
アート施設	1.8	4.1	3.2
朝市	4.8	4.9	4.6
観光イベント	13.8	12.8	8.8
町並み・景観	7.0	11.4	10.5
温泉情緒	9.2	14.0	15.8
サンプル数	1122 組	507 組	285 組

%、雲仙 25.0%、近畿の場合は由布院 37.8%、中国の場合は由布院 42.0%、四国の場合は福岡 28.6、北九州 21.4%、由布院 21.4%、九州の場合は由布院 45.7%での宿泊が多い。中でも九州の福岡は 69.6% の人が由布院で宿泊しており、いずれにしても由布院での宿泊が目立っている。

6. 別府温泉郷の評価と今後の課題

(1) 現状評価 (表 24)

5段階評価の平均値でみると、海地獄では海や山の風景 4.37、温泉施設 4.00、温泉地の印象 4.19 が 4 ポイントを超え、評価は高い。しかし買物施設 3.40、料飲施設 3.40、交通事情 3.57 のポイントが相対的に低い。岡本屋では海や山の風景 4.25、温泉地の印象 4.04 の 2 項目が 4 ポイントを超えただけで、温泉施設 3.99 がこれについている。これに対して買物施設 3.14、料飲施設 3.33、交通事情 3.45、観光情報 3.46 のポイントが低く出ている。竹瓦温泉では海地獄同様に、海や山の風景 4.20、温泉施設 4.16、温泉地の印象 4.08 が 4 ポイントを超えている。しかし買物施設 3.13、料飲施設 3.28、交通事情 3.47 のポイントが相対的に低い。3 施設にほぼ共通していることは海や山の風景、温泉施設、温泉地としての印象のポイントが高いことで、買物施設、料飲施設、交通事情のポイントが低いことであろう。

(2) 今後の課題 (表 25)

今後の課題、つまり充実させる部分として、海地獄では露天風呂 19.8%、観光イベント 13.8%、散歩道 12.9

%、駐車場 12.5%、観光案内施設 10.8% が 10% を超えている。岡本屋では露天風呂 23.1%、駐車場 22.5%、温泉情緒 14.0%、観光イベント 12.8%、街並み・景観 11.4%、買物施設 11.2%、散歩道 10.1% の 7 項目が 10% を超えている。竹瓦温泉では駐車場 26.7%、露天風呂 17.9%、温泉情緒 15.8%、観光案内施設 13.3%、共同湯 10.5%、街並み・景観 10.5% の 7 項目が、岡本屋同様に 10% を超えている。共通した課題としては駐車場の整備、温泉施設の充実（露天風呂、共同湯など）、観光案内施設の整備などがあげられよう。

7. おわりに

別府温泉郷における観光客の動向について、アンケート調査を元にして、観光施設のタイプ別に追及したが、その結果、次の点が明らかになった。

- ①観光客の年齢層は全体的に 20 歳代が最も多く、平均年齢は 30 歳代半ばとなる。
- ②同行者は全体的には夫婦・同伴、友人・知人、家族連れが多い。
- ③観光市場は九州がトップで、中でも岡本屋は 7 割を越えている。九州の中では福岡が最も多い。しかし海地獄と竹瓦温泉では関東、近畿、中国からの入り込みが 1 割を超えている。
- ④別府選定の情報源は全体的には旅行情報誌、友人・知人の紹介、以前来たからが目立つ。海地獄では旅行者の紹介（斡旋）が 1 割を占める。
- ⑤旅行全体の旅程では全体的には 1 泊が多い。しかし海地獄では 2 泊、岡本屋、竹瓦温泉では 0 泊（日帰り）も 3 割強を占めている。別府温泉郷における旅程は 1 泊と 0 泊（日帰り）が多い。
- ⑥観光施設の入り込み状況は地獄めぐりを除くと高崎山、湯の花小屋、マリンパレス、別府ロープウェイ、アフリカンサファリなどが目立つ。しかし高崎山は 10% 前後の入り込み率に留まっている。別府の観光スポットは高崎山の地位が低下する一方、明礬温泉の湯の花小屋、その他では新しいテーマパークやレジャー施設などを訪問するケースが目立ってきた。しかしながら別府温泉郷内に点在する多くの観光施設に対して観光客が訪問することは少なく、今後はきめ細かな観光宣伝活動を一層強化すべきであろう。
- ⑦別府以外の立ち寄り先として全体的には由布院が多い。高度経済成長期には見られなかった傾向である。海地獄では阿蘇、福岡、長崎、熊本、大分市などが多

い。中でも関東、中部、近畿は旅行業者の主催旅行を利用して、阿蘇、長崎、福岡に至る広域観光ルート上の観光地や都市を訪問するケースが多い。別府の北部九州広域観光ルートの拠点性はしだいに薄れつつあるが、別府観光の根底には広域観光ルートの存在を無視することは出来ない。

- ⑧別府温泉郷の評価(5段階評価の平均)は全体的には海や山の風景、温泉地としての印象、温泉施設の評価が相対的に高く、買物施設、料飲施設、交通事情などの評価が低い。
- ⑨別府の今後の課題として露天風呂、駐車場、観光イベント、散歩道、観光案内施設、街並み・景観、温泉情

緒があげられた。要約すれば観光客は別府に対して温泉地らしい情緒を求め、充実した観光情報を駆使することで、露天風呂めぐりとそぞろ歩きが楽しめる温泉街を期待しているようだ。

謝辞

本研究に当たって、ご指導を頂いた山村順次先生(千葉大学教授)に感謝申し上げますと共に、調査にご協力を頂いた海地獄、岡本屋、竹瓦温泉(別府市温泉課)、そして調査を担当した別府大学短期大学部の学生(日本観光野実習の受講生、観光研究会の会員など)に心から御礼申し上げます。

資料 1

別府温泉郷における観光客の動向調査

この調査は、学術研究の資料とし、合せてよりよい温泉地づくりの参考にしたいと思います。おかつろぎのところ大変恐縮ですが、ご記入方よろしくお願い申し上げます。

記入方法は、() には、具体的な数値又は語句、その他は、該当する項目に○印を付けて下さい。なお、家族、グループ、団体の場合は、代表者の方がご記入頂ければ幸いです。

別府市観光協会、別府大学短期大学部観光学研究室

1. この施設の利用日は、(月 日)
 2. あなたは、①男性 ②女性
 3. 年齢 () 歳
- 【以下の質問 (4~7, 9) については、○印をいくつ付けても構いません】
4. 今回の旅行の目的は、
 - ①観光 ②湯治 ③保養・休養 ④宴会 ⑤親睦・コミュニケーション ⑥食事・会食
 - ⑦法事・慶事 ⑧スポーツ・アウトドア ⑨見学・教養 ⑩研修・会議 ⑪ビジネス ⑫招待・接待
 - ⑬その他 ()
 5. 別府温泉郷での立ち寄り先は (予定を含む)、
 - ①立ち寄らない (次の質問 6へ進んで下さい) ②立ち寄った (以下、該当する項目に○印を付けて下さい)

【北浜】①竹瓦温泉 (普通浴場) ②竹瓦温泉 (砂湯) ③不老泉 ④海門寺温泉 ⑤駅前高等温泉
⑥商店街 (別府駅前) ⑦料飲街 (別府駅前) ⑧別府タワー ⑨トキハ百貨店
⑩コスモピア (専門店ビル) ⑪スパビーチ
⑫その他 ()

【明礬】①鶴寿泉 ②地藏泉 ③湯の花小屋 ④温泉保養ランド (泥湯) ⑤十字原高原 (展望台)
⑥その他 ()

【鉄輪】①むし湯 ②熱の湯 ③筋湯 ④洪の湯 ⑤ひょうたん温泉 ⑥秘宝館
⑦大分県花卉総合指導センター ⑧貴船城 ⑨やまなみの湯 ⑩ヤングセンター
⑪その他 ()

【地獄】①坊主地獄 ②海地獄 ③山地獄 ④カマド地獄 ⑤鬼山地獄 ⑥白池地獄 ⑦金龍地獄
⑧血の池地獄 ⑨竜巻地獄 ⑩その他 ()

【市内】①柴石温泉 ②亀川温泉 ③堀田温泉 ④湯都ピア浜脇 ⑤別府公園 ⑥ビーコンプラザ
⑦グローバルタワー ⑧海浜砂湯 ⑨市立美術館 ⑩別府湾クルーズ ⑪竹細工伝統産業会館
⑫日本竹の博物館 ⑬スギノイパレス ⑭アクアビート ⑮ケーブルラクテンチ ⑯パチンコ
⑰その他 ()

【郊外】①高崎山 ②マリンパレス ③別府ロープウェイ ④鶴見岳 ⑤志高潮
⑥城島後楽園ゆうえんち ⑦アフリカンサファリ ⑧ハーモニーランド
⑨ゴルフ場 (具体的に)
⑩その他 (具体的に)
 6. 別府以外での立ち寄り先は (予定を含む)、
 - ①どこにも立ち寄らない ②長崎 ③雲仙 ④熊本 ⑤阿蘇 ⑥宮崎 ⑦福岡 ⑧由布院
 - ⑨国東半島 ⑩宇佐神宮 ⑪耶馬溪 ⑫白杵 ⑬大分市
 - ⑭その他 (具体的に)
 7. 別府温泉に来た理由は、
 - ①温泉が有名 ②温泉の効能 (適応症) ③保養・休養によい ④交通条件がよい ⑤旅館の設備がよい
 - ⑥宿泊料金が手頃 ⑦料理・食べ物が美味しい ⑧景色がよい ⑨以前に来た ⑩紹介・口コミ
 - ⑪観光施設がある ⑫旅行業者の斡旋 (業者名は)
 - ⑬その他 (具体的に)

8. 別府温泉の温泉地としての印象を5段階で評価して下さい。
 一評価基準 <5:大変良い、4:良い、3:普通、2:悪い、1:大変悪い>
- ①山や海の風景は <5・4・3・2・1> ②宿泊施設は <5・4・3・2・1>
 ③観光施設は <5・4・3・2・1> ④温泉施設は <5・4・3・2・1>
 ⑤交通事情は <5・4・3・2・1> ⑥買物施設は <5・4・3・2・1>
 ⑦料飲施設は <5・4・3・2・1> ⑧街並み・景観は <5・4・3・2・1>
 ⑨観光情報は <5・4・3・2・1> ⑩温泉地としての印象は <5・4・3・2・1>
9. 今後、別府温泉の充実すべき部分は、
 ①散歩道 ②公園 ③駐車場 ④ベンチ ⑤展望台 ⑥バス路線 ⑦共同湯 ⑧露天風呂
 ⑨観光案内施設 ⑩観光宣伝 ⑪買物施設 ⑫料飲施設 ⑬アート施設 ⑭朝市 ⑮観光イベント
 ⑯街並み・景観 ⑰温泉情緒
 ⑱その他(具体的に)
10. 当施設を利用する回数は、
 ①(回目) ②忘れた ③その他()
11. 当施設を利用する頻度は、
 ①はじめて ②めったに来ない ③年に1回 ④年に2~3回 ⑤月に1回 ⑥月に2~3回
 ⑦週に1回 ⑧その他()
12. 別府温泉に来たのは、
 ①はじめて ②めったに来ない ③年に1回 ④年に2~3回 ⑤月に1回 ⑥月に2~3回
 ⑦週に1回 ⑧その他()
13. 別府温泉を選んだ時の情報源は、
 ①テレビ・ラジオ等の番組 ②旅行情報誌 ③旅行者の紹介(斡旋) ④友人・知人の紹介(口コミ)
 ⑤ガイドブック ⑥パンフレット・チラシ類 ⑦駅や現地の案内所 ⑧以前来たから
 ⑨インターネット ⑩知らない
 ⑪その他()
14. あなたの住所は、() 都・道・府・県 () 市・区・町・村
15. あなたの職業は、
 ①農林水産業 ②自営業(商工サービス関係) ③専門職・技術職 ④販売・事務・労務職
 ⑤会社経営・会社役員 ⑥教員 ⑦公務員 ⑧学生 ⑨パート・アルバイト ⑩専業主婦
 ⑪無職 ⑫その他(具体的に)
16. あなたの同行者は、
 ①自分だけ ②夫婦・同伴 ③家族連れ ④家族・親族 ⑤友人・知人 ⑥職場の人 ⑦同業の人
 ⑧地域の人 ⑨趣味・同好の人 ⑩学校団体 ⑪旅行会社の募集団体(旅行社名)
 ⑫その他(具体的に)
17. 同行者数は、自分を含めて()人、その内訳は、男性()人、女性()人
18. 自分を含めた同行者の年齢構成は、
 ①10歳以下()人 ②10歳代()人 ③20歳代()人 ④30歳代()人
 ⑤40歳代()人 ⑥50歳代()人 ⑦60歳代()人 ⑧70歳以上()人
19. 別府温泉は、日帰りですか、宿泊ですか。①日帰り ②1泊 ③その他(泊)
20. 別府温泉での宿泊先(地名又は旅館名)は、()
21. 宿泊の場合、今回の全体の旅行日数は(予定を含む)、()泊
22. 別府以外の宿泊先(地名)は、()
23. 別府までの主な交通機関は、
 ①飛行機 ②JR ③船 ④自家用車 ⑤公共バス ⑥団体貸切バス ⑦定期観光バス
 ⑧レンタカー ⑨その他(具体的に)
24. 別府温泉郷内での移動(予定を含む)は、
 ①徒歩 ②自家用車 ③公共バス ④団体貸切バス ⑤定期観光バス ⑥タクシー ⑦レンタカー
 ⑧その他(具体的に)
25. 別府温泉・当施設に対する要望事項等

※ご協力ありがとうございました。